

カリキュラム・ポリシー／畜産科学専攻（博士後期課程）及び獣医学専攻（博士課程）

【専攻共通のカリキュラム・ポリシー】

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻博士課程及び畜産科学専攻博士後期課程ディプロマ・ポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

(1) 研究者としての高度な倫理観の養成

e-ラーニングやアクティブラーニングを用いた、高度な倫理観を養成する科目を配置します。

(2) リーダーシップの養成

- ・社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを有する教育者・研究者を育成するために、高度な知識と技術を習得し、全体を統括できる能力を習得させる科目を配置します。
- ・優れた教育者・研究者になるために教育・研究スキルを実践的に修得できる科目を配置します。

(3) 国際通用力の養成

- ・海外での活動を見据え、英語によるプレゼンテーション能力や、ディベート能力及び論文作成能力を高める科目を配置します。
- ・最先端の研究能力を修得するため、海外の大学との協働体制による研究インターンシップやフィールドワーク等の国際通用力を養成する科目を配置します。

(4) 博士人材としての総合研究力の養成

獣医・農畜産融合の視点から、幅広く専門性の高い知識を分野横断的に修得するために共通科目を配置するとともに他専攻科目を選択科目として配置します。さらに地球規模課題の解決を目的として、国際水準の先端的な研究能力を修得するための科目を配置します。

(畜産衛生PG) 畜産生産現場から食卓における衛生に主眼を置いた畜産衛生学に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

【専攻別のカリキュラム・ポリシー】

獣医学専攻	畜産科学専攻
上記(1)～(4)の専攻共通のカリキュラム・ポリシーに加え、下記のとおり各コースにおける高度な専門性を修得するための科目を配置しています。	
(5) 国際的に活躍・貢献できる研究者の育成を目指し、獣医科学及び関連分野の先端的な専門知識と高度な専門技術を習得させるため、教育の中心となる「専攻コア科目」を必須科目として配置し、高度な専門的知識を修得する科目を用意します。	(5) 家畜の生体機能と生産・管理に関して、動物福祉や環境保全などの視点も取り入れた生命科学から生産科学までの広範かつ先端の知識と技術を学ぶための科目を配置します。
(6) 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を生かし、食の安全や動物とヒトの健康に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します	(6) 成熟化した国際社会における動物福祉や環境保全を踏まえ、自然環境の構成員（野生動物、昆虫、植物）の役割・機能、相互作用及び生態系保全の両立に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。 (7) 農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ世界最先端の知見と技術を学ぶための授業科目を配置します。
	(8) わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
	(9) わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、食料生産に関わる経済学や経営学に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
	(10) わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、機械的・生物学的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
	(11) 伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物といった様々な動物を対象として、基礎、病態、感染症、病因制御、動物臨床科学等一連の動物医科学に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。